

中学校2、3年生 美術 表現「季節感のある暮らしを楽しむ」(教科書P.64~P.67)

年 () 組 氏名 ()

目標：装飾の目的や条件を基に、用いる場面などから主題を生み出し、表現の構想を練ることができる。

目標：形や色彩などの組み合わせによる構成の美しさを捉えることが理解できる。

ステップ1：学習の進め方を確認しよう

- 教科書P.64~P.65の和菓子を見て、形や色彩の組み合わせからその良さを発見しよう。(①)
- 視点をもって情報を集め、整理し主題（強く表現したいこと）を生み出そう。(②)
- ①②より配色や形、構成、3つの要素を大切にポスターの構想を練り、よりよく伝わるために七位が大切か考えてみましょう。(③④)

ステップ2：自分でやってみよう

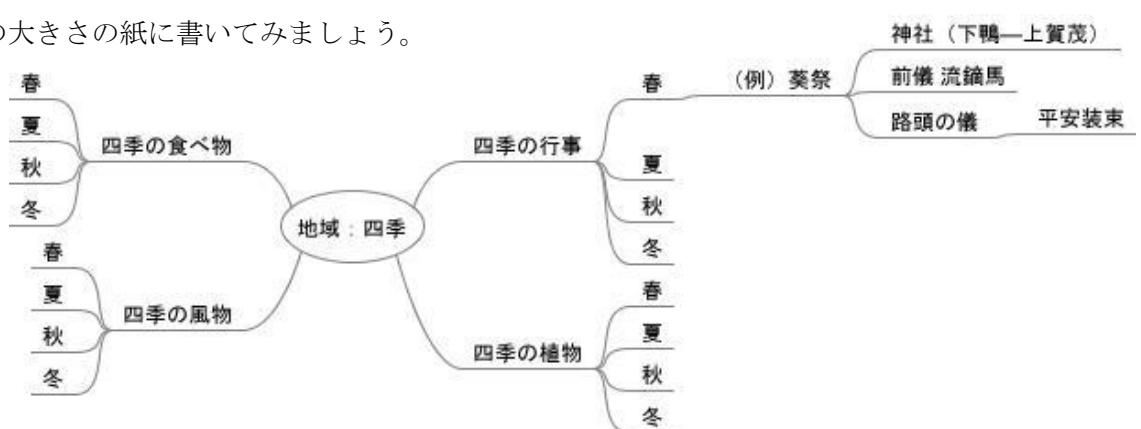
- ① 教科書P.64~P.65を見て、自然や季節感がどのように取り入れられているか、意図や工夫について考えよう。

視点	番号と名称	季節を表現するための工夫
色		
形		

教科書 P64~P65 をみてね。

- ② 地域の季節感をテーマにマッピングで発想し、広い視点から主題を生み出そう。

※ A4程度の大きさの紙に書いてみましょう。



→※ マッピングができたら、和菓子のデザインにしてみたいものを選択し ○で囲み、主題を生み出そう。

③ 教科書 P, 66～P, 67 【みんなの工夫】の考え方を参考に和菓子のデザインのスケッチをして発想を広げよう。

【配色】

色の組み合わせによるイメージの表出や美しさが表現できているか。

【形】

美しく見せるための単純化や強調など、造形の工夫が考えられているか。

【質感】

イメージしたものの質感を表現するための工夫がなされているか。

【装飾】

材料の特性を知り、全体の仕上がりを意識した装飾が工夫されているか。

ステップ3：学びを生かして挑戦してみよう！

- ・和菓子のデザインは季節の風物の他にも様々な要素から考えられています。どのようなものからデザインが考えられているのか調べてみましょう。
- ・和菓子にはよく古典を題材にデザインされていることがあります。和歌にも季語があるように、季節と日本人の心には密接な関係があるようです。国語3年生の教科書P, 133～P, 156を参考にするなど、和歌から和菓子のデザインを考えてみましょう。
- ・和菓子に季節の花や天候などの自然現象を装飾などに取り入れることで甘い菓子でも視覚的な楽しみが加わっています。我々の生活には様々な面で美術が関わっていますがその役割について考えてみましょう。

自己評価をしましょう

この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの、皆さんの理解度や疑問を知るためのもので先生の評価とは関係ありません。

課題①② 和菓子の豊かなデザイン性を知り、幅広い視点で見方や感じ方を広げることができましたか。

十分に ますます 自信がないが できなかつた
できた。 できた。 なんとかできた。

課題③ 「季節感のある暮らしを楽しむ」について考え、構想する中で考えを深めることができましたか。

十分に ますます 自信がないが できなかつた
できた。 できた。 なんとかできた。

学習を終えて、わからないこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。

